

# いたばしパパ月間事業の拡充【板橋区】

個別事業費	138 千円
交付金額	69 千円

### 地域の実情と課題

令和6年度に行った「板橋区男女平等参画及び多様性尊重社会に関する意識・実態調査」では、平日の男性の家事・育児に携わる時間について聞いた設問で「30分未満」という回答が29.7%、「30分以上1時間未満」という回答が31.1%と、短い時間の回答が多数を占めた。（女性はそれぞれ7.4%、12.0%）  
長時間労働を前提とした男性中心型労働慣行が根強く、女性が離職もしくは就業時間の調整を行うことによって、家事・育児を担う傾向があることから、男性が現状よりも家事・育児に関われるよう、サポートを行っていく必要がある。

### 事業の特徴

男性の家庭生活をサポートし、女性へのケア労働の偏りを是正するために毎年10月に実施している「いたばしパパ月間」事業における取組として、オリジナルの育児カードゲーム「カジークジー」体験会及びそれに基づく講演会の開催経費を新たに予算化し、男性の家事・育児参画を一層促進する。育児カードゲーム「カジークジー」体験会の他に、男性の家庭・仕事生活に関わるセミナーを3回、区内商業施設及び区役所庁舎内における展示事業を各1回、区内商業施設での男女平等推進センター登録団体協働イベントを1回開催している。

### 事業の効果

「カジークジー」体験会では、ゲームを通して「家事・育児・仕事」のトラブルをパートナーと対話しながら分担する重要性に気づく機会を提供した。「家事シェアセミナー」では、家族のあり方やパートナーとのコミュニケーションを見直すきっかけとなったという肯定的な声が寄せられた。「子育てセミナー」では、内容が具体的かつ実行可能で分かりやすく、専門家からの解説により理解が深まり、父親としてすべきことが多くあると再認識できたという感想があった。これらの取り組みにより、育児期の男性が従来以上に家事・育児に関わるきっかけが創出された。

### 目的・目標

地域の実情と課題を踏まえ、男性が現状よりも家事・育児に関われるよう、「いたばしパパ月間」事業により啓発を行う。

- 事業目標  
いたばしパパ月間事業の総参加者数（アウトカム）：延べ150人
- 達成状況  
136人

### 連携団体

<構成団体>  
一般社団法人チーム主夫ラボ：育児カードゲーム「カジークジー」体験会におけるファシリテーション及びそれに基づく講演会の実施  
板橋区男女平等推進センター登録団体：いたばしパパ月間関連イベントの実施  
区内商業施設：いたばしパパ月間関連イベントの会場提供

### 今後の課題

参加者数を増やすために、オンライン配信やアーカイブ視聴を増やしパートナーも参加できるようにするなど、心理的・時間的ハードルを下げる。また、セミナーは対象とテーマを明確に絞り、具体的な内容を提示することで、参加者が「自分ごと」と捉えやすくする。さらに企業との協働による情報発信や広報活動を強化し、対象者へ効果的に情報が届くよう事業の周知拡大を図る。

# 事業の概要

## いたばしパパ月間

男性の家庭生活をサポートし、女性へのケア労働の偏りを是正するための取組の一つとして、毎年10月の「いたばしパパ月間」において、セミナーの実施や情報発信などを行い、育児期男性が今よりもっと家事・育児に関わるためのきっかけを提供する。

パパのための子育てセミナー実践編 令和7年10月19日（日）  
10：00～12：00 オンライン開催

参加者：8名  
実施内容：仕事と子育ての両立方法や子どもへの接し方、父親の子育てに関する不安・困りごとについて参加者同士のグループワークを交えながら実施した。

家事シェアから学ぶ、家族とともに豊かな人生を送るコミュニケーション力～家庭から生まれる、カッコいい背中！～ 令和7年10月21日（火）・10月28日（火）いずれも19：00～20：30

場所：板橋区立グリーンホール  
参加者：延べ11名（アーカイブ配信視聴回数：66回）  
実施内容：生活スタイルによる家事シェアの方法やパートナーとのコミュニケーションのコツについて参加者同士のグループワークを交えながら実施した。

### 育児カードゲーム『カジークジー』体験会

令和7年10月5日（日）10：00～11：30 参加者：6組 12名  
場所：板橋区役所南館6階教育支援センター研修室  
実施内容：家庭や仕事のトラブルを解決していく対話型の協力ゲームを実施。

アルバムカフェ お気に入りの写真で心を支える防災ポーチづくり  
令和7年10月11日（土）11：00～14：30 参加者：39名

場所：イオン板橋ショッピングセンター5階イベントスペース  
実施内容：親子や家族で防災を学びながら、避難時に心の支えになるように家族写真を貼った防災ポーチを手作りした。

## 【課題】

男性が家事や育児に費やす時間は依然として短く、ケア労働は女性に偏っている。そのため、男女間のケア労働の不均衡を是正する必要がある。

## 【取組】

いたばしパパ月間事業により幅広いテーマで講座やイベントを開催し、男性が仕事と家事・育児の両立や家族とのかかわり方を見直すべききっかけを提供する。

## 【効果】

男性の家庭生活をサポートするとともに、以前に比べて家事・育児に積極的に関わるようになる。

## 結果・実績

目標・KPI

いたばしパパ月間事業の総参加者数

目標：150人（アウトカム）

実績：136人達成率：90.6%



<周知ポスター>